

第22回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成26年8月8日（金） 県庁4階大会議室		
委員 (委員数：5) (出席数：5)	委員長 広瀬 慎一（元富山県立大学短期大学部長） 委員 大石 貴之（弁護士） 委員 彼谷 環（富山国際大学子ども育成学部准教授） 委員 土開 由香（税理士） 委員 中村 和之（富山大学経済学部長）		
次 第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① 富山県の入札・契約制度について ② 平成25年度下半期の入札・契約方式別発注工事の状況について ③ 平成25年度下半期の一位不動入札、落札率100%入札、平成25年度の一者入札、入札方式別落札率及び総合評価方式の試行結果について ④ 平成25年度の低入札状況及び指名停止の運用状況等について 3 審議工事の抽出結果の報告 4 抽出事案の審議 5 審議結果の報告 6 閉会		
審議対象期間	平成25年度下半期（同時期に請負契約を締結した工事）		
抽出事案	10件（審議対象工事総件数：920件）		
一般競争入札	3億円以上	1件	（事案1） 主要地方道入善朝日線道路総合交付金（防災・架替）赤川橋上部工工事
	1億円以上	1件	（事案2） 中川水系沖田川河川総合交付金放水路第2工区工事
	2千万円以上	3件	（事案3） 神代地区砂防総合交付金（急傾斜）法面工その2工事 （事案4） 一般国道471号県単独道路改良護岸工工事 （事案5） 基幹水利施設 針原地区 針原用水路第3工区工事
指名競争入札		4件	（事案6） 一般県道安居福野線道路総合交付金（防災・防雪）安居消雪配管リフレッシュ第1工区工事 （事案7） 県営住宅蓮町団地1から5号棟風呂釜取替工事 （事案8） 一般県道戸出高岡線道路総合交付金舗装工工事 （事案9） 県営林道開設 別又嘉例沢線 東蔵工区 法面工事
随意契約		1件	（事案10） 小矢部川第一発電所 励磁装置等更新及び水車発電機修繕工事
委員からの意見及び質問並びに当該質問に対する回答	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会としての意見	平成25年度下半期における建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていると判断する。		

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○事案1の工事について、低入札となった要因の一つに「公共工事削減等による受注機会が少ないことによる価格競争の激化」を挙げているが、入札参加者数が2者と少ないのはなぜか。</p>	<p>参加可能な業者13者は、日本国内に点在しており、作業員や資機材の手配の効率性や手持ち工事の状況などを総合的に考慮して最終的に2者となったのではないかと推察される。</p>
<p>○事案2の工事について、「簡易な施工計画」を総合評価の評価項目としているが、施工計画のとおりを実施されたかどうかの確認はどのようにしているのか。</p>	<p>工事の施工中に確認が必要と認められる事項については、工事担当者が確認を行うこととしている。また、工事完成後の検査時に確認が必要とされる事項については、検査員が確認を行うこととしている。</p>
<p>○事案2の工事について、「簡易な施工計画」において「土木工事共通仕様書」などの一般的な事項を記載されているものを評価の対象としているが、当然実施すべき事項が評価の対象となっているのではないかと推察される。</p>	<p>「簡易な施工計画」では、特別な技術提案を求めるのではなく、共通仕様書の内容を理解し、現場条件に即した適切な施工を行う旨の記載があれば、工事の品質の確保が期待されることから評価の対象としている。</p>
<p>○事案5の工事について、年度末の非常に短い工期で契約し、その後大幅に工期を延長しているのはなぜか。最初から年度をまたいだ発注はできなかったのか。</p>	<p>入札公告の時点では国へ繰越承認申請中であり、工期を年度内に設定せざるを得なかったが、国の承認後に工期延長を行っている。</p>
<p>○事案8の工事について、1回目の入札で全ての入札参加者が予定価格を超過した入札をしているのはなぜか。</p>	<p>県では標準的な歩掛をもとに設計しているが、現場条件（市街地）を考慮して入札参加者が積算した結果、入札金額が予定価格よりも高くなったのではないかと推察される。</p>
<p>○事案10の工事について、水車発電機等の大規模改修を製造メーカーと随意契約しているが、普段のメンテナンスについても同じ業者と契約しているのか。</p>	<p>今回のように、10～15年に一度実施しているオーバーホールについては、その性質上、製造メーカーと契約しているが、普段のメンテナンスは地元の業者と契約している。</p>